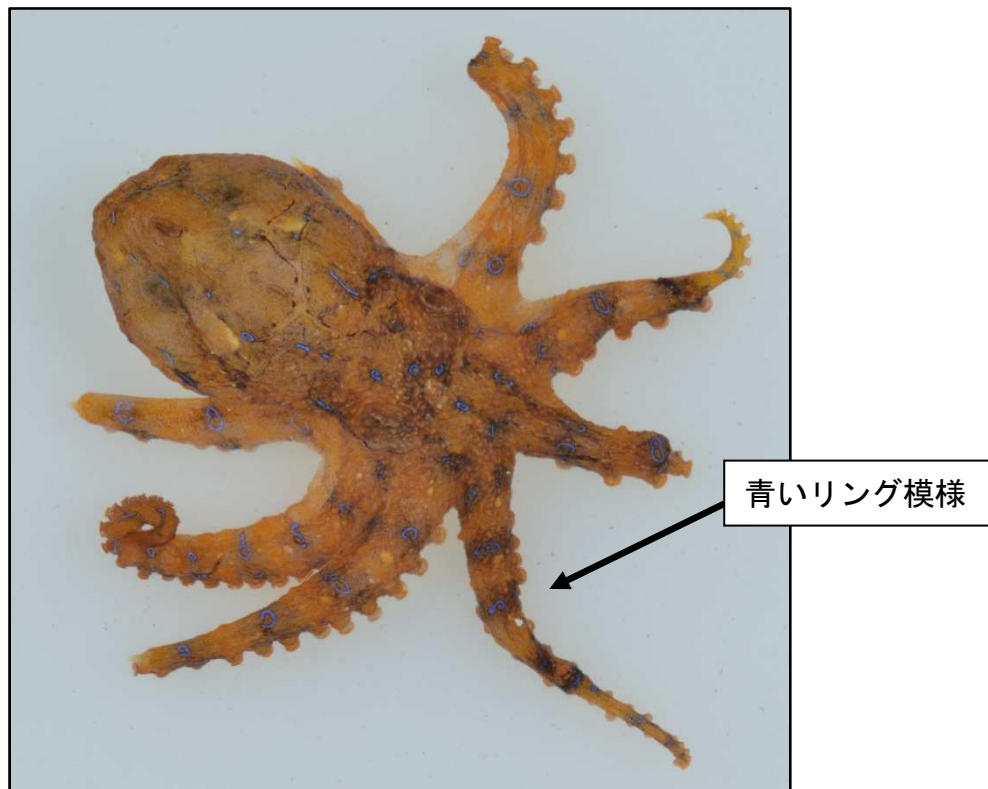


ヒョウモンダコにご注意ください

平成31年3月14日下関市地先において、猛毒を持つ「ヒョウモンダコ」が採捕されました。

このタコは、フグと同じ猛毒のテトロドトキシンをもっており、噛まれると死に至る場合がありますので、漁で混獲された場合は、不用意にさわって噛まれないようご注意ください。

また、見つけた場合は、漁協を通じて最寄りの農林水産事務所水産部または下関水産振興局までお知らせください。（①日時 ②場所 ③漁業種類 等）



ヒョウモンダコの特徴

- 本来、西太平洋熱帯域・亜熱帯域の岩礁やサンゴ礁に生息していますが、近年、佐賀県や福岡県の海岸でも確認されています。
- 体長は10cm程度で、刺激を受けると全身に青いリング模様が現れます。
- 唾液にフグと同じ猛毒のテトロドトキシンが含まれており、噛まれると呼吸困難や心肺停止を引き起こし、死に至る場合があります。

【 問い合わせ先 】

○水産振興課	生産振興班	TEL : 083-933-3540
○下関水産振興局	普及振興班	TEL : 083-266-2141
○柳井農林水産事務所	普及振興班	TEL : 0820-22-0740
○山口農林水産事務所	普及振興班	TEL : 0835-22-1506
○萩農林水産事務所	普及振興班	TEL : 0838-25-3377
○水産研究センター外海研究部		TEL : 0837-26-0711
○水産研究センター内海研究部		TEL : 083-984-2116